

北のわらしべ

《初春号》 令和7年2月27日発行

発行元：社会福祉法人わらしべ会(北海道)

連絡先：〒065-0043

札幌市東区苗穂町3丁目2-35

TEL 011-776-7981 [法人本部]

今年も立春となりました。

春寒の候、お身体を大切にお過ごしください



理事長 川本 明良 2025年2月

昨年のわらしべ会北海道の最も大きな出来事は法人創設の入所施設「大滝わらしべ園」を閉鎖したことです。法人の「入所施設支援」から「地域支援」への事業転換を具体化した一年になったといえます。大滝わらしべ園の利用者の移動先として札幌新規グループホームを開設、札幌に40名の生活の場を確保しました。日中活動の場の増築も行いました。2024年が今後の法人運営全体の大きな分岐点となりました。

さて、報道されているように福祉関連では今年、いよいよ「2025年問題」と呼ばれる時代を迎えることになります。団塊の世代と呼ばれる人たちが75歳以上となり介護の必要な人が増加するそうです。介護職員が不足する中、求められるサービスが一気に増えることになります。しかし、労働人口の減少から多くの業界が人材確保に苦労しています。福祉分野の人材難は質的・量的どちらも厳しい状況です。改善されつつあるとはいえ、給与面や変則勤務の負担など、働く人の不安材料が多いようです。私たちにとって、非常に残念なことですが単に処遇のみでなく福祉労働者は一般的に「社会的評価」が低く、仕事にプライドを持つことが難しいことも、若い人たちがこの業界を敬遠する理由ではないかという意見もあるようです。

障がい分野では利用者の高齢化や施設から地域生活への移行の課題の取り組むこと、ニーズの拡大ほか、令和6年度の報酬改定に基づき、身体拘束や意思決定支援の対応など、取り組むべき業務内容の増加が顕著です。限られた職員人数でこれらすべてに取り組む必要があることから、職員の負担も増大しています。

福祉分野でのICT技術の活用や外国人労働者の採用など、懸命な努力が続いていますが、どれも今のところ決定的な対応にはならないようです、あらゆる角度から人手不足に対応していくことが福祉事業者にも求められているといえます。わらしべ会ではインドネシアからの外国人職員の採用を進めています。

関連する介護関連支出が増大するという見込みがありますが、社会保障費の急激な増加が懸念される中、昨年あちこちで耳にした「持続可能な」という用語は福祉予算圧縮を含めた幅広い内容でもあるようです。

昨年、12月に開催された全社協主催の「第26回日本韓国台湾民間福祉代表者会議」では日本・韓国・台湾ともに少子高齢化による労働人口の低下が産業全体に影響し、経済状況の低下が想定されるという3か国共通の課題について語られていました。このことから生活困窮者の増加や社会課題が拡大することにつながることから、これらのテーマに取り組むことが私たちに求められているようです。民間組織が行う幅



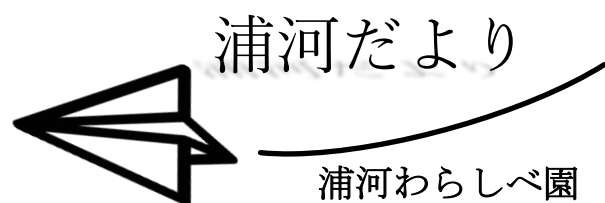
広い活動という意味では、障がい福祉のみでなく、私たち社会福祉法人の「地域」での社会課題についての取り組みなどが重要になってきていると会議を通じて感じました。

わらしべ会の2025年は利用者の支援を見直し、高齢化にそなえ、広義の自立支援や地域貢献や地域づくりに向けたの活動取り組みたいと考えています。今年はコロナ感染拡大で停止していた地域貢献活動や、事業所や地域のイベント実施にも取り組んでいきたいと思います。今年も、皆様のご支援をお願い申し上げます。

非常事態／物価高騰・令和の米騒動？



物価高騰が暮らしを直撃していると連日報道されています。キャベツ1つがラーメン1杯より高くなったとの報道もありました。当然のことですが施設・事業所の運営にも大きな影響があります。夏を過ぎるとコメ不足が深刻化し、コメ確保のために朝からスーパーを回ったことを思い出します。職員の生活保障のための「新しい処遇改善加算」の増額や、安定運営のための報酬単価の上昇を希望する意見が多くあります。



〒057-0171
浦河郡浦河町西舎 124-1
Tel 0146-28-1801
FAX 0146-28-1991
Mail urakawa-warashibe@deluxe.ocn.ne.jp



秋の特別外出

浦河わらしべ園では 10 月には秋の特別外出を行いました。皆さんそれぞれに希望を伺い、札幌や苫小牧、静内に帯広など希望の場所に行きました。それぞれの行先で買い物や食事、観光などそれぞれ楽しまれました。札幌旅行に行かれた方は、円山動物園、居酒屋にカラオケと満喫していました。帯広旅行に行かれた方はご家族と現地で合流し一緒に食事を食べ、いろいろなお話をされていました。その他、苫小牧や静内、えりもなど日帰り旅行に行かれた皆さんは、思い思いの買物や、行ってみたかった外食など普段できないことを満喫され、充実した秋の一日となりました。



(思い思いの休日を)



(おいしい～)

王道！それとも変わり種？寿司バイキング

11 月には寿司バイキングを行いました。今回は厨房職員が握ったお手製のお寿司です。王道のネタから、生ものが苦手な方用には稲荷寿司や、玉子、納豆巻きに鉄火巻き、かつぱ巻きとあり、変わり種のチャーシューなどもあり、皆さん王道寿司を食べるか、変わり種を食べるかメニュー表とにらめっこしていましたが、「やはり王道のお寿司だね」、「変わり種もいけるね」と久々のお寿司を美味しく召し上がっていました。

クリスマス会開催

12 月は皆さんお楽しみのクリスマス会を開催しました。会に向けてはクリスマスツリー飾りのレクリエーションを行い、利用者さんみんなでオーナメントや電飾を楽しそうに一つ一つ話し合いをしながら飾っていました。クリスマス会当日は雪の少ない浦河としては珍しく大雪の天候で、来園する家族を心配し、正面玄関で待たれる利用者さんもうらっしゃいました。無事到着したら「よかった」と安心され涙を流されている方もいらっしゃいました。今回はクリスマス会の為に撮影スポットを作成しました。このスポットは好評で、記念撮影をする利用者さんが想定より多くおられました。会が始まり施設長の挨拶、その後浦河町民吹奏楽団の方々に、クリスマス定番曲から昭和歌謡曲、流行曲などを演奏いただきました。皆さん手拍子をしたり、曲に合わせて歌ったりとクリスマス会を盛り上げながら、思い思いに楽しまれました。



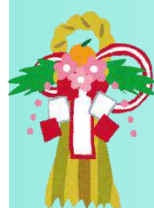
(クリスマス最高～)

昼食はもちろんクリスマスメニューで照り焼きバーガーにポテトサラダ、ミルクパンとフライドポテト、クリーム（撮影スポットで、記念撮影）シチューといった特別メニューです。さらにデザートは浦河町のケーキ屋さんのパティスリーラピエータのロールケーキでした。食の細い利用者さんもイベントを楽しみながら「美味しいねえ」、「さすがケーキ屋さん！」とおいしいものに舌鼓を打たれていました。

悪天候に見舞われ少し不安の一面もありましたが、今年も楽しいクリスマス会が行えて、皆さん笑顔の絶えないクリスマスでした。

今後の予定

1 月の新年会に向け準備を行っています。2025 年始まって最初の行事ということもあり、食事のメニューや出し物など賑やかにできるように計画しています。その他にもレクリエーションとして調理レクや 2 月には節分の豆まき、3 月にはひな人形の飾りつけなど季節に沿った行事の計画しています。今年も利用者の皆さんに楽しく元気に過ごしていただけたら様々な企画を進めていきます。



札幌わらしべ園

東区事業所

東区事業所

〒065-0042

札幌市東区本町 2 条 6 丁目 4-1

Tel 011-783-0606 (1 階)

011-790-8130 (2 階)

FAX 011-790-6572 (共通)

Mail sawarasibe@cyber.ocn.ne.jp (1 階)

Whshuuru01@yahoo.co.jp (2 階)

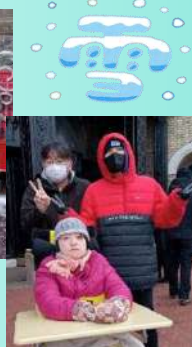
幻想的な冬の白い恋人パーク外出！

12 月 7 日、土曜日。東区事業所では札幌を代表する観光地「白い恋人パーク」へ外出しました。この時期の札幌は雪が積もり始め、根雪になる年も少なくありません。そのため、当日も天候次第で中止を考えていましたが、幸いにも雪の降り方は穏やかで、無事に外出を実現することができました。出発前から、利用者の皆さんは「楽しみだね」と期待している様子でした。今回の滞在時間は限られていたため、無料エリアの庭園スペースを中心に楽しむプランにしました。白い恋人パークは、建物や庭園がヨーロッパ風のデザインで統一されており、訪れるだけで特別な気分になります。到着すると、まず目に飛び込んできたのはイルミネーション。冬の寒さはありませんでしたが、キラキラと光るモニュメントを目にして、表情を明るくされていました。さらに、庭園内に設置された機械仕掛けの人形たちが動くたびに「すごいね！」「可愛い！」と声をあげて喜ばれていました。人形たちの動きに釘付けになる姿が印象的でした。雪が降る中での外出は防寒対策を万全にしても、寒さを感じる環境ではありましたが、皆さん楽しめたようです。「また来たいな」という声もあり、皆さんにとって素敵な冬の思い出になったことが感じられました。

今回訪問した冬の白い恋人パークは、雪景色とイルミネーションが融合しており、冬限定の特別な空間でした。次回はぜひ有料エリアも含めて、さらにゆっくりと楽しめる時間を計画したいと思います。



(みんなで記念撮影)



(寒いけど

楽しいね)

本物のサンタクロースが登場！？東区クリスマス会を開催！

12 月 25 日、クリスマス当日にクリスマス会を開催しました。この日のために、1 か月以上前から装飾の準備を進め、クリスマスツリーやイルミネーションで会場を華やかに演出していました。利用者さんたちも、「クリスマス会が楽しみ」「サンタさんは来るの？」と期待に胸を膨らませていました。



(よく〜狙って)

当日は、クリスマスらしい衣装を身にまとい、気分を盛り上げました。プログラムのメインは、みんなで楽しむクリスマスゲーム「スノーボールキャッチ」と「ソリ引きリレー」の 2 種類を行いました。「スノーボールキャッチ」では、白いピンポン玉を箱に投げ入れるシンプルなゲームですが、思った以上に盛り上がりました。ボールが見事入ると、「やったー！」「入った！」と大喜びする声が響きました。一方の「ソリ引きリレー」は、風船を乗せたソリを慎重に引きながら、次の走者にバトンを渡すゲームです。風船が落ちそうになるハプニングに笑いが起きたり、チームで声を掛け合ったりと、参加者全員が一丸となって楽しむ姿が印象的でした。

クリスマス会のクライマックスは、サンタクロースの登場です。利用者さんの中から選ばれた「サンタさん」が衣装を身にまとい、プレゼントを一人ひとりに配りました。その姿がとても似合っており「本当にサンタさんみたいだね！」と大盛り上がり。プレゼントを受け取った皆さんの笑顔が印象的でした。

(サンタさんありがとぅ！！)

クリスマス会は、笑顔と笑い声があふれる温かいひとときとなりました。来年もまた、皆さんと一緒に素敵な時間を過ごせるように準備をしていきたいと思います。



(がんばれ〜！)



札幌わらしべ園

苗穂第一事業所

苗穂第一事業所

〒065-0043

札幌市東区苗穂町3丁目2-37

Tel 011-792-6806

FAX 011-792-6807

Mailsawarasibe@cotton.ocn.ne.jp

モンスター探し！？ハッピーハロウィン

10月31日は苗穂第1事業所でハロウィンのイベントを行いました。利用者の方々は日常とは異なった活動で作った、ジャックオーランタンの装飾に、心弾ませる場面が見られました。又、イベントでは2つのゲームを行い、利用者皆様の満面の笑顔を見ることができました。

前半は「〇×クイズゲーム」を行いました。当日勤務職員の、得意なことや誕生日、クイズでお馴染みの「今何問目？」などの数々の問題が出されました。1分という短い制限時間の中で、問題に出された職員のリアクションから判断をして答えを出す方や、考える間もなく答えを出す方など、慎重…時に大胆にクイズに挑戦していました。なんと出された〇×クイズに対して全問正解者が2名もいらっしゃいました。全問正解をしたことに普段以上の素敵な笑顔で、身体を震わせて喜びを表現されていました。



(さあ、どこかな?)

後半は「宝探しゲーム」ならぬ「モンスター探しゲーム」を行いました。事業所内に隠されたドラキュラやフランケンシュタインのシルエットを探し出すゲームです。当初は想定時間ギリギリに終わる…と思われていましたが、利用者の皆様は普段では考えられないアグレッシブな動きを見せる方や、職員のサポートで隅々に隠れていたモンスターを見つけてはドヤ顔をする方等々…全員の力を合わせたことで想定時間の半分でゲームを終了することができました。やってやったぞ！と言わんばかりに、祝福の拍手を受けて大満足のうちにハロウィンのイベントは幕を降ろしました。



(見つけた!)

最後には参加賞のお菓子とジュースを全員で飲みました。普段では味わえない非日常感でイベント開催中は皆様終始笑顔を見せていただいております。「また参加したい」と仰ってくれた方もいたそうです。前回は夏祭り、今回はハロウィンと、これからも喜んでいただけるイベントを企画するとともに、普段の日常活動も大切にしていきたいと職員一同改めて思うイベントでした。

苗穂第一事業所では12月23日にクリスマスレクリエーションを行いました。今年5月から大滝わらしべ園の6名の仲間が事業所へ参加したため、メンバーも変わり、これまでとは違う新しい雰囲気でした。あと数日でクリスマスということもあり、事業所内はクリスマスの装飾が飾られていたので、イベント前から雰囲気を楽しんでいる利用者の方もいらっしゃいました。(練習の成果)



当日のプログラムはドラム演奏の発表、クリスマスビンゴをしました。まず、初めにドラム演奏の発表ですが、ドラムを趣味とする利用者さんが、このクリスマス会に向けひそかに練習をされていました。普段の活動でもドラムの練習されており、クリスマスに向け好きな曲を皆さんの前でぜひとも演奏を披露したいと、目標を立てられていました。行事の当日はあまり緊張することなく少し微笑んでいる様子で演奏されていました。1コーラスを2曲演奏する予定でしたが、皆さんすごく盛り上がり、もう1曲演奏してほしいとアンコールが沸きました。ご本人も快くもう1曲クリスマスの曲を演奏してくれました。ドラムを皆さんの前で披露し、盛大な拍手を受けて、ご本人はとても満足そうでした。



(無事ビンゴ)

するかな?)

演奏が終わると次はレクリエーションでクリスマスビンゴを行いました。まずサンタさんに扮した職員がビンゴカードを全員に配っていきます。カードには番号ではなくクリスマスに関するイラストが9種類ありました。サンタさんが持っているカードを利用者の方数名が1枚ずつ引き、ビンゴカードにそれと同じイラストがあったらチェックするというルールです。サンタさんからカードを引きたいと手を挙げて引いて笑ったり、なかなかカードが引けず恥ずかしそうにしている方もいました。ビンゴが2列揃った方はサンタと2ショット写真を撮るかな?)



(プレゼント

ありがとう)



(最後は記念撮影)

影し、お菓子を貰えて満足げな様子でした。ビンゴ終了後、クリスマスソングとして、「きよしこの夜」を全員で歌いました。25日のクリスマスもこの曲のように穏やかに過ごしたいと思いながら聞いているようでした。最後にビンゴで貰ったお菓子を皆さんで食べ、ジュースを飲み、おいしそうに召し上がっていました。サンタさんに扮した職員がいたこともあり、クリスマス感満載で皆さん終始笑顔でした。新しいメンバーとのとても楽しいクリスマスレクリエーションを開催することができました。

札幌わらしべ園

苗穂第二事業所

苗穂第二事業所

〒065-0043

札幌市東区苗穂町 3 丁目 2-35

Tel 011-776-7981

FAX 011-776-7982

Mail naeojimu@hotmail.com

🎃 ハロウィン音楽発表会 🎃

10 月 31 日にハロウィン音楽発表会を開催しました。夏祭りの時お世話になったお礼を兼ねて、苗穂第 1 事業所で音楽の発表をさせていただきました。発表の内容は第 1 事業所の利用者さんも大好きな曲「明日があるさ」の手話ソングと、秋ということで「もみじ」と「どんぐりころころ」の歌とダンスです。「どんぐりころころ」では第 1 事業所の皆さんに楽しんでもらえるように、どんぐりの被り物をして首を振るコミカルな振付を組み込みました。



(みんなで記念撮影📷)

1 か月ほど練習を重ねてきましたが、本番直前の練習では急に恥ずかしくなってしまったのか、曲の途中で後ろを向いてしまう利用者さんもいました。しかし、本番ではしっかりと前を向いて発表し、第 1 事業所の皆さんを笑顔にすることが出来ました。発表が終わると、第 1 事業所の皆さんから発表のお礼にとお菓子をいただきました！本当にありがとうございました！

音楽発表会を終えて第 2 事業所に帰り発表会の振り返りをしました。皆さんは発表を頑張ったことで達成感を得られたようで、「楽しかった」「頑張ってよかった」と話しておられました。そして、お菓子をもらえたことをとても喜んでいました。そのあとはハロウィンの仮装をして写真撮影を行いました。皆さんノリノリで衣装を選び、ポーズをキメて撮影しました。今年も楽しいハロウィンとなりました。



(明日があるさ♪)



(トリックオアトリート！)

🎄 クリスマス飾り付け 🎄



(大きなリース！)

12 月にはクリスマスの飾り付けをしました。今年は大きなリースを作り、活動で作った折り紙のクリスマス飾りをリースに張り付けました。そのほか、観葉植物をツリーに見立てて活動で作ったクリスマス飾りをつけたり、小さいクリスマスツリーにオーナメントを取り付けたり、クリスマスの小物を事業所のあちこちに配置したりしました。事業所の中が一気にクリスマス色に染まりました。



(ミニツリーを飾る)

クリスマスコンサート！～♪音楽をプレゼント♪～

12 月 24 日にはハロウィン音楽発表会に引き続き、苗穂第 1 事業所でクリスマス会の音楽発表をさせていただきました！発表した曲は 4 曲です。「ジングルベル」は手話ソングで、「赤鼻のトナカイ」は歌とダンスで、「きよしこの夜」は合唱でそれぞれ披露しました。最後に「あわてんぼうのサンタクロース」を歌いましたが、『欽ちゃん走り』をオマージュしたダンスに加えて、ちょっとしたコントを交えた形式にしました。



(大爆笑のコント)

今回はあまり練習が出来ず、当日の朝の特訓までは歌がばらばらでしたが、直前の練習でばっちり仕上げ、本番に臨みました。第 1 事業所の皆さんは喜びの声を上げて出迎えてくれました。本番に強い皆さんは練習以上の出来を見せてくれました。特にコントでは緊張する中大きな声で話し、絶妙な間でつつこみをしていました。第 1 事業所の皆さんは発表を見て笑顔を見せていました。発表が終わるとクリスマスプレゼントのお菓子をいただきました！

第 2 事業所に帰り「頑張った」「緊張した」と感想を話していると、皆さんあてにサンタさんからプレゼントが届いていました。皆さん嬉しそうにプレゼントの中身を確認していました。また、さらにお菓子のプレゼントもあり、この日は皆さんたくさんのプレゼントで大荷物を持っての帰宅となりました。



(この近さである)



(プレゼントでみんなご機嫌)

クローズアップこの活動

通信

苗穂事業所～2025 新年会～

苗穂事業所ではそれぞれ新年会を行いました。

まずは苗穂第一事業所での様子をご紹介します。

苗穂第一事業所ではまず利用者の皆さんから今年の抱負を伺いました。その場で話すことが難しい方は事前に抱負を伺い、職員から発表されています。「今年もみんなと仲良くしたい」、「去年食べれなかったおいしいものを食べてみたい」、「新しいグループホームで生活してみたい」など皆さんそれぞれが思い描いている抱負を伺うことができました。次に演奏会を行い、ドラム演奏をされました。前回のクリスマス会で披露してから次の目標が見当たらず、少し気落ちされていましたが、新年会開催の知らせを聞き、年末からコツコツ練習されていました。直前まで練習していたこともあり、腕の動きもよく、テンポよく演奏されていました。新年早々良い演奏が聴けて皆さん大きな拍手を送っていました。その後は少し休憩ということでおやつとジュースを飲みました。

一息つき最後に全員で「明日があるさ」を歌いました。もちろんドラムの演奏付きです。普段から活動で歌っていることもあり、大盛り上がりで歌われ、今年の苗穂第一事業所の新年会は終了しました。「今年も頑張ろう」という気持ちが皆さんから伝わってきた新年会でした。

次に苗穂第二事業所です。新年会ではまず出し物を考えました。皆さんそれぞれどんな出し物ができるかを考え、ジェスチャー当てクイズや昭和アイドルのダンス、マジックと皆さん得意なものを披露することになりました。

当日は午前中に会の段取りと一部練習の成果の披露となりました。本番までのお楽しみとなる出し物もありました。

午後になり新年会のスタートです。まずは新春早口言葉の披露です。「生麦生米生卵、隣の客はよく柿食う客だ」などおなじみの早口言葉を披露です。少し怪しい場面（笑）もありましたが、なんとかか噛まずに披露できました。

次はマジックの披露です。トランプマジックを披露してくれました。マジックが成功すると皆さんから大きな歓声が上がりました。

続いて職員からもマジックの披露です。コップが浮くマジック、指の切断マジック、ペンが消えるマジックなどと職員も気合が入っています。いずれも無事成功し、「浮いた！切れて戻った！消えた！」と皆さん驚かされていました。

その次は 3 名の女性利用者による昭和アイドルダンスの披露です。日ごろ音楽の時間に行っているダンス活動を活かし、各々が曲に合わせたダンスを披露し、大盛り上がりでした。



(ダンス！)

グループホーム シェアハウス

グループホーム

シェアハウス

2024 年の年末年始は今までは一味違う年越しでした。5 月より、新しいグループホームができ、大滝わらしべ園から 6 名の方が入居されました。年末年始は自宅帰省で各グループホームのメンバーが減るため、普段とは違うグループホームで過ごしていただくことがあります。今回は新しいグループホームに何名か集まり、年越しをされる方がいらっしゃいました。最新のグループホームということもあり、普段過ごしているホームより快適そうな一面も見られました。「一度来てみたかった」言われている方もおり、楽しい年末年始を過ごされた方と思います。

次に朗読です。今回はちょっと変わった桃太郎を読まれました。感情豊かに抑揚をつけ、上手に読まれていました。結末まではあえて読まず、最後は皆さんの大喜利となり、結末を面白くボケました。

いよいよ出し物も終盤となってきましたが、続きましてはヒゲダンスとヘディングの披露です。リズムに合わせてヒゲダンスを踊り、その後職員から投げられたボールを華麗にヘディングで返していました。練習では苦戦していましたが、本番では一発で成功し、喜ばれ提案した。

新年会もついに最後の出し物となりました。最後はジェスチャー当てクイズです。まずは職員からお題を聞き、それを皆さんの前で披露です。すぐに回答が出て、ポンポンと進んでいきました。最後の問題は腕をクロスした皆さん見慣れたポーズで、全員「ウルトラマン！」と回答されていました。

無事すべての出し物が終わり、最後に閉会の挨拶を 1 名からしていただき、今年の苗穂第二事業所の新年会も終了しました。来年は何を披露しようか、早速考えられている方もいらっしゃり、大変楽しい 1 日となりました。



(マジックの披露♠)

わらしべ会（北海道）今後の課題について （法人の運営計画より）



前回の機関紙で大滝わらしべ園の閉鎖をお知らせしましたが、複数の方から法人の今後についてご心配頂くお声を頂戴いたしました。施設閉鎖を決めた昨年度の法人の運営計画書に私たちの将来に向けた思いを記しておりますので、少し長くなりますが、一部を省略して掲載させていただきます。

社会福祉法人にはそれぞれ歴史があります。わらしべ会（北海道）にも創設者から引き継いだ、大切にするべき独自の歴史と文化があります。わたし達が大切にするべき法人の歴史と文化は、利用者支援におけるコンダクティブ教育理論による支援からスタートしました。その後、障がいのある人の農業や乗馬、柔道などの具体的な数々の活動を生み出しました。わらしべ会の基本姿勢は「独自性」を大切にすることや「創造」の取り組みといえます。独自の文化を基本姿勢として尊重しながら、社会情勢や環境の変化を見据えた、柔軟な思考と運営が今、私たちに求められています。

わらしべ会（北海道）が旧有珠郡大滝村（現伊達市大滝区）に入所施設「大滝わらしべ園」を開設したのは昭和63年のことでした。平成8年に浦河郡浦河町に「浦河わらしべ園」を開設し、今年で法人設立36年目を迎えています。この間、わたしたちは将来に向けた自らの役割を模索してきました。

「施設不要」とする意見や「地域生活主体」とする施策に加えて、障がいのある人の権利意識の向上もあり「障がいのある人＝入所施設利用」とする考え方は否定され、各自が希望するサービスを選択する時代になってきました。

箱形入所施設の事業充実・発展に努力した時期を経て、わらしべ会は平成17年からは札幌での地域生活支援事業に取り組みました。社会の変化や制度の変化、利用者さんのニーズ等を踏まえて「僻地箱型施設からの転換」をテーマに、時代に即したわらしべ会（北海道）の“支援の拡大”“機能の充実”“法人の広域ネットワーク形成”を目標として約18年にわたって、法人運営の大転換に取り組んできました。令和5年度をむかえた現在、当初想定した札幌の事業展開や利用者支援に関する機能は一部を除いて、まとまりつつあると総括しています。

僻地箱型入所2施設の時代を法人運営の「創設期」、札幌への地域生活移行や地域生活支援を法人運営の「拡充期」と位置付けると、札幌での事業が法人運営の中心となりつつある今、わらしべ会（北海道）は新しい転換期をむかえているといえます。今後の継続と展開、さらなる機能拡大をめざすべき「発展期」ともいえる時期に向かい、新しい課題に取り組むことが必要となっています。

「北周り航路・南周り航路」13時間の移動

昨年、久しぶりにハンガリーを訪問しました。コロナ感染期の渡航を控えていたため、なんと！今年は3年ぶりの移動です。成田空港を出発して飛行機の針路をモニターで確認すると飛行機が千島列島付近を北に向かって飛行しています？確認するとソ連を迂回する「北周り航路」で飛行するとのこと、以前は東京から乗り換え地のヘルシンキまで10時間ほどの飛行時間でしたが、13時間12,000km程の飛行となりました。ヘルシンキ到着前には「オーロラが見えるよ」とキャビンクルーの方に教えていただき、快適で楽しく移動することができました。帰国時は「南周り航路」ブダペストの近くを飛行し、トルコから北京を飛行する航路でした。ブダペストから直接、乗れると便利なのにといつも感じます。（川本）



（北周り航路）

この本あります！「2030年ジャック・アタリの未来予測」 ジャック・アタリ 著

この本の著者ジャック・アタリ氏のインタビューが、昨年公開されました。大統領選挙でトランプ氏が選ばれた際にはアメリカが「民主主義の灯台」でなくなり「灯台」を失った世界の民主主義が脅かされるとの意見を述べていました。トランプ氏の大統領就任で独裁的な政治がなされた時、民主主義国家日本の姿勢が問われるとの意見でした。アタリ氏が著書の中で強調している「利他主義」の思想が世の中で広く受け入れられるのでしょうか。彼の「傍観者であってはならない」という言葉はすべての事象に当てはまるのではないかと感じます。



（トランプ大統領）

林昌宏 訳



（「不確実な世の中！」）

お 知 ら せ

❀ ありがとうございます ❀

順不同にてご紹介



ご寄附・ご寄贈頂きました。

女池 好子 様 谷口 貢 様
高橋 節子 様 鍋島医院 様



室蘭建設業協会 様 日高建設協会 様
奥田管理 様

皆様のご支援に感謝申し上げます。



Facebook

わ ら し べ
Facebook &
Instagram
始めました



Instagram

札幌わらしべ園の活動を紹介しています！
見て頂けると嬉しいです。(不定期更新)

新年のご挨拶を北のわらしべで申し上げます。

年賀状に代えて機関誌「北のわらしべ」を通じて新年のご挨拶を申し上げます。ご理解の程、お願い申し上げます。

	浦 河		札 幌		法 人	
2 月	上旬	節分レク	4 日	節分	未定	監事監査 理事会
	中旬	ひな人形飾りつけ				
3 月	上旬	寿司バイキング	4 日	ひな祭り		
	上旬	ひな祭りレク	下旬	お誕生日会		
	中旬	健康祈願祭				

健康づくり！みんなのタッピー体操

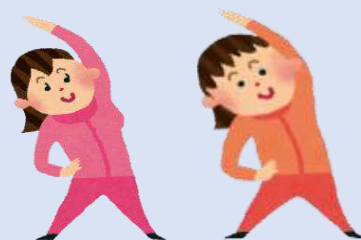
タッピーわらしべ園のご案内

毎月第 2・4 木曜日 10～11 時開催

2 月 27 日

3 月 13 日

3 月 27 日



※令和 7 年 4 月以降も第 2・4 木曜日開催です！



※感染対策に
ご協力ください

場所：札幌わらしべ園苗穂第一事業所
(旧氏家医院)

内容：みんなのタッピー体操他

対象：どなたでも参加できます♪

持ち物：体操用タオル、水分



編集職員一同

2025 年は静かに時が流れる年になればと、期待しております。皆様、これから春をむかえますが、インフルエンザが大流行しています。お体ご自愛ください。



2025 年がはじまりました。「1 年があつという間に過ぎる」という人が多いようです。昨年、わらしべ会・北海道では建設や施設閉鎖をはじめ、目の回るような多忙な 1 年でした。

編集後記